二〇二二年度 東京藝術大学　音楽学部　入学試験（問題・解答）用紙
実施日時：二〇二二年二月二十六日（土）　九時三〇分～十一時三〇分（二時間〇〇分）

科目	学科名	受験生記入欄
国語 六枚のうち 一 枚目	楽理科	受験番号 番

（ア）

（イ）

第一問　次の文章は、今福龍太『身体としての書物』（二〇〇九年三月、東京外国語大学出版会）の一節である。本書は大学における筆者の授業をもとに執筆されている。これを読んで、以下の問いに答えなさい。なお、原文中に掲載されていた写真については省略されている。

この部分につきましては、著作権法上の関係から掲載することが出来ません。

二〇二二年度 東京藝術大学　音楽学部　入学試験（問題・解答）用紙
実施日時：二〇二二年二月二十六日（土）　九時三〇分～十一時三〇分（二時間〇〇分）

科目	学科名	受験生記入欄
国語 六枚のうち 二 枚目	楽理科	受験番号 番

（ア）

（イ）

この部分につきましては、著作権法上の関係から掲載することが出来ません。

二〇二二年度 東京藝術大学　音楽学部　入学試験（問題・解答）用紙
実施日時：二〇二二年二月二十六日（土）　九時三〇分～十一時三〇分（二時間〇〇分）

科目	学科名	受験生記入欄
国語 六枚のうち 三 枚目	楽理科	受験番号 番

（ア）

（イ）

この部分につきましては、著作権法上の関係から掲載することが出来ません。

二〇二二年度 東京藝術大学　音楽学部　入学試験（問題・解答）用紙
実施日時：二〇二二年二月二十六日（土）　九時三〇分～十一時三〇分（二時間〇〇分）

科目	学科名	受験生記入欄
国語 六枚のうち 四 枚目	楽理科	受験番号 番

（ア）

（イ）

この部分につきましては、著作権法上の関係から掲載することが出来ません。

〔語注〕

○書肆―書店。本屋。　○書誌学―書籍を研究対象として、分類・解題・鑑定などをおこなう学問で、書写・印刷・製本などの技術、図書の体裁・内容・伝来・流通・校訂、整理分類の方法、歴史から紙や筆墨の材料研究まで、広範な領域からのアプローチが必要とされる。

○四六判―書籍の判の一つで、一八・八センチメートルに一二・七センチメートル程度の大きさのもの。　○ソロー―ヘンリー・デイヴィッド・ソロー（一八一七―一八六二）。アメリカ合衆国の作家、思想家。『ウォールデン』はウォールデン池のほとりでの自給自足生活を回顧した、ソローの代表作。　○W・ベンヤミン―ヴァルター・ベンヤミン（一八九二―一九四〇）。ドイツの文芸批評家、思想家。代表作に『複製技術時代の芸術』。

二〇二二年度 東京藝術大学　音楽学部　入学試験（問題・解答）用紙
実施日時：二〇二二年二月二十六日（土）　九時三〇分～十一時三〇分（二時間〇〇分）

科目	学科名	受験生記入欄
国語 六枚のうち 五 枚目	楽理科	受験番号 番

（ア）

（イ）

問一　文中の（ア）～（オ）のカタカナを、文意に合うような漢字になおしなさい。

問二　文中の二重傍線部「（a）哲学」、「（b）お勉強」という言葉の意味について、文脈に即したかたちで説明しなさい。

問三　文中の傍線部（1）「こうした意味での世界」の「世界」とはどのようなものか、説明しなさい。

問四　文中の段落（A）「ところで、旅先に本を持っていく、ということは誰でもするはずです。」～「でもこんなことを言うと、あなたにとっての書物は、一種の儀礼的な呪物（フェティッシュ）のようなものなのですね、と言われてしまいそうですが。」の挿話は、「身体としての書物」という本文章のテーマにとってどのような役割を果たしているか、説明しなさい。

問五　文中の傍線部（2）「「身体としての書物」というテーマは、「書物というイデア」というテーマと表裏一体のものだと言っておきましょう」とはどのようなことを言っているのか、説明しなさい。

問六　文中の傍線部（3）「ものごとを思考する活動の原初にある認知メカニズムと深い関わりがある」とはどのような意味か、説明しなさい。

問七　文章末尾の傍線部（4）「「データ」や「コンテンツ」という今日のテクノロジー思想を支える概念には、まだメディアとしての「コク」が足りない、とぼくには思えるのです」について、筆者の主張をふまえつつ、あなたの考えを書きなさい。

二〇二三年度 東京藝術大学　音楽学部　入学試験（問題・解答）用紙
実施日時：二〇二二年二月二十六日（土）　九時三〇分～十一時三〇分（二時間〇〇分）

科目	学科名	受験生記入欄	（ア）	（イ）
国語 六枚のうち 六 枚目	楽理科	受験番号 番		

第二問　次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

この部分につきましては、著作権法上の関係から掲載することが出来ません。

（『古事談』第一の四七「顕基出家の事」）

〔語注〕

○顕基中納言―源顕基（一〇〇〇―一〇四七）。この当時従三位権中納言で、三十七歳。藤原頼通の猶子（義子）であった。　○後一条院―第六八代後一条天皇（一〇〇八～一〇三六）。一条天皇の第二皇子。母は藤原道長の娘彰子。　○楞厳院―比叡山横川（よかわ）にある天台宗総本山延暦寺の一堂宇。首楞厳院。　○晏駕―天皇や上皇の崩御。　○梓宮―ここは後一条院の柩。　○主殿司―天皇の身の回りの世話をする後宮十二司の一つ。灯火、薪炭などをつかさどる女官たちの官司。　○大原山―京都市左京区のあたり、比叡山北西麓に位置する。　○宇治殿―関白藤原頼通（九九二―一〇七四）。顕基の養父となっていた。　○俊実―顕基の弟、源隆国の孫に源俊実がいるが、この当時は未生。ここは、顕基の子資綱（一〇二〇―一〇八二）の誤りか。なお、末尾の美濃大納言も俊実のこと。

問一　文中の傍線部（ア）～（エ）の意味を説明しなさい。

問二　文中の傍線部（1）で、顕基の「発心の根源（＝理由）」は何か説明しなさい。

問三　文中において、顕基が平素から詠じている白楽天の詩がこの箇所に置かれている効果を説明しなさい。

問四　文中の傍線部（2）「罪なくて配所の月を見ばや」とはどういうことか、説明しなさい。

問五　文中の傍線部（3）「指せるついでもなきに、子息の事、よもあしきさまにはいはれじ」について、宇治殿は顕基の心情をどのように推察したのか、「指せるついでもなきに」を現代語訳した上で説明しなさい。

二〇二二年度 東京藝術大学　音楽学部　入学試験（問題・解答）用紙
実施日時：二〇二二年二月二十六日（土）　九時三〇分～十一時三〇分（二時間〇〇分）

科目	学科名	受験生記入欄
国語	楽理科	受験番号 番
二枚のうち 一 枚目		（ア） （イ）

第一問

問一　（ア）　（イ）　（ウ）　（エ）　（オ）

問二

(a)	(b)

問三

問四

問五

問六

問七

二〇二二年度 東京藝術大学　音楽学部　入学試験（問題・解答）用紙
実施日時：二〇二二年二月二十六日（土）　九時三〇分～十一時三〇分（二時間〇〇分）

科目	国語	二枚のうち 二枚目
学科名	楽理科	
受験生記入欄	受験番号 番	
（ア）		
（イ）		

第二問

問一

（ア）

（イ）

（ウ）

（エ）

問二

問三

問四

問五